

地域の見守りネットワーク

地域包括支援センターごとに年数回「見守りネットワーク連絡会」を開催しています。地区を担当する民生委員や関係協力機関の皆さんにご参加いただいています。講師をお招きして講演会で知識を深めるほか、グループで意見交換を行ったり事例を検討するなど、さまざまな連絡会が行われています。今回は「認知症」をテーマにした連絡会が各地区で行われました。

● あさくさ地域包括支援センター

平成21年12月2日(水)
特別養護老人ホーム浅草にて

「認知症の方を地域で支えるには」をテーマとして相談協力員研修を行いました。

グループごとに、認知症の方の具体的事例をあげて、対応方法について話し合いました。「認知症の方が同じ話しを繰り返していても、初めて聞いたようにうなずく」「すぐに病院につなげることは難しくても、地域包括支援センターの案内や、区役所で行う認知症相談の紹介をする」などの意見が発表されました。

参加した方からは「日頃感じている小さな悩みが解決できた」との感想が聞けました。



● まつがや地域包括支援センター

平成21年7月30日(木)
ケアハウス松が谷にて

認知症サポーター養成講座「認知症を学び、地域で支えよう」を開催しました。認知症の方や介護者の方に対し、言葉かけることの大切さを学びました。初めてサポーター養成講座に参加された方には認知症サポーターの印であるオレンジリングをお渡ししました。